



長野県岡谷東高等学校 文化部活動方針

2022年4月

目標	知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、豊かな心や創造性の涵養を目指す。生徒の自主的・自発的な参加により、多様な学びや経験をする場、自らの興味・関心を追求する機会等の充実を図る。
運営方針	<p>文化部活動の実施に当たっては、生徒の心身の健康管理（障害・外傷の予防やバランスのとれた学校生活への配慮等を含む）、事故防止（活動場所における施設・設備の点検や活動における安全対策等）を徹底する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 学期中は、原則として、週あたり2日以上以上の休養日を設ける。（平日は少なくとも1日、週末は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。）2 長期休業中の休日の設定は、原則として、学期中に準じた扱いとする。3 文化部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。4 1日の活動時間は原則として、正味の平均練習時間が3時間程度までとし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。5 生徒の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等や地域の行事や催し等を精査する。6 熱中症事故防止の観点から、「熱中症予防情報サイト」（環境省）等を参考に、原則として室温管理等の対策が取れない場合には活動しない等、適切に対処する。また、重大事故の防止に向け、文化部活動においても、「スポーツ事故防止ハンドブック」（独立行政法人日本スポーツ振興センター）等に則って、安全に十分配慮する。7 文化部活動における合理的で効率的・効果的な活動のため、各分野の関係団体が開催する研修会に参加するなど、指導力の向上に努める。8 顧問会では、本活動方針について、常に見直しを行うこととする。
指導体制の工夫	<p>専門的知見を有する養護教諭や保健体育担当の教員等と連携・協力し、発達の個人差や成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得た上で指導を行う。</p> <p>地域の団体との連携や民間事業者の活用等による、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める。</p>
その他	<p>活動の機会が損なわれることのないよう、活動機会の確保・充実を図る。</p> <p>少子化に伴い、特定の文化部を設けることが出来ない場合には、近隣の学校や関係団体と連携しながら、合同部活動等の取組を図る。</p>